

佐事研だより



佐賀県公立小中学校事務研究会
編集発行人 森 清隆

会員各位

会員の皆さま、先月の第16回研究大会お疲れさまでした。1学期の終業式も間近となりました。暑さには十分お気をつけください。

今年度の「佐事研だより」の担当は、順番に、今号より（鳥栖市・神埼郡）、（佐賀郡・小城郡・佐賀市）、（唐津市・東松浦郡・杵島郡）、（武雄市・伊万里市）です。その他については調査広報部長にて行う予定です。よろしくお祈りいたします。

第16回 大会アンケート集計結果

大会アンケート集計にご協力いただき、ありがとうございました。今回の県教委講演（吉野教育長様）・記念講演（船橋敏昭様）・特別講演（竹下孝英様）は、なかなか好評のようでした。

第16回大会アンケート集計表

年代 回答	20代		
	教育長様講演	船橋様講演	竹下様講演
大変よかった	9	10	10
良かった	4	3	1
普通	0	0	1
良くなかった	0	0	0

年代 回答	30代		
	教育長様講演	船橋様講演	竹下様講演
大変よかった	9	19	15
良かった	14	11	14
普通	6	3	3
良くなかった	0	0	0

年代 回答	40代		
	教育長様講演	船橋様講演	竹下様講演
大変よかった	8	16	11
良かった	26	20	26
普通	8	6	3
良くなかった	0	0	0

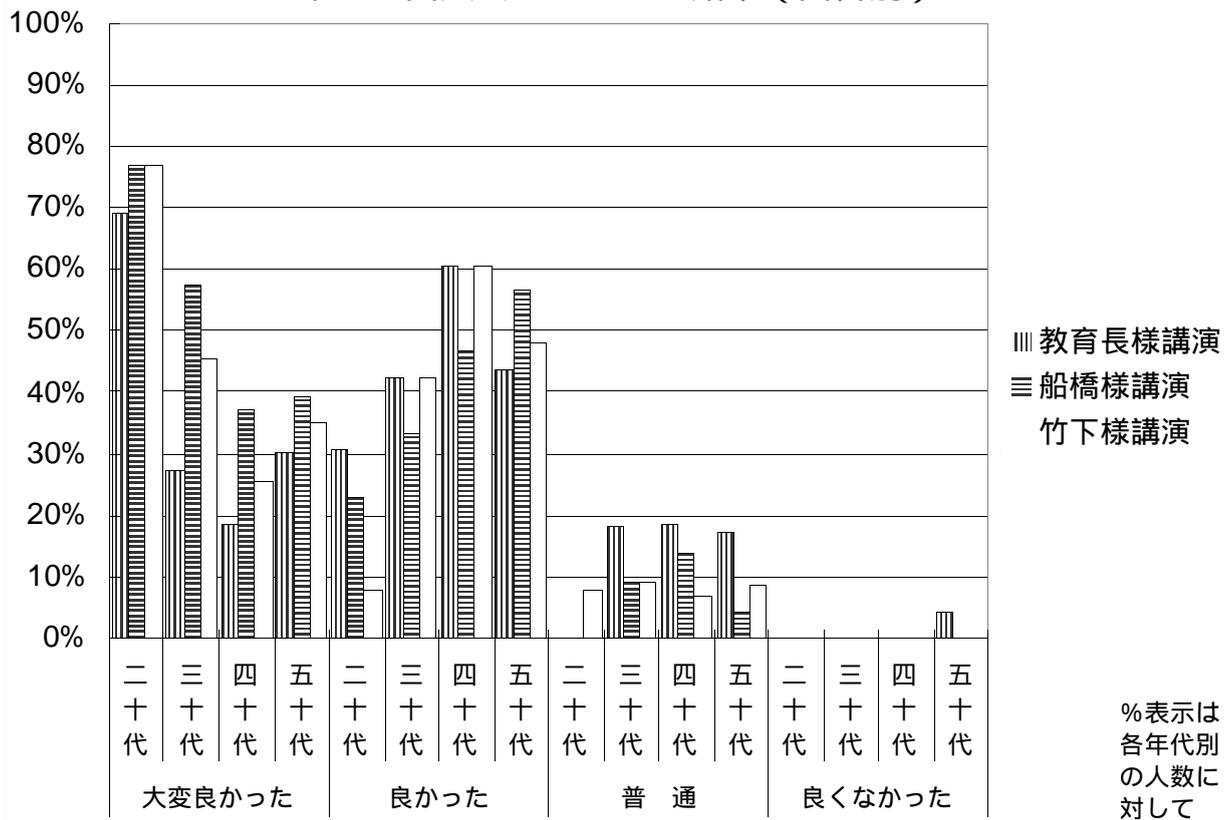
年代 回答	50代		
	教育長様講演	船橋様講演	竹下様講演
大変よかった	7	9	8
良かった	10	13	11
普通	4	1	2
良くなかった	1	0	0

年代 回答	合計		
	教育長様講演	船橋様講演	竹下様講演
大変よかった	33	54	44
良かった	54	47	52
普通	18	10	9
良くなかった	1	0	0
合計	106	111	105

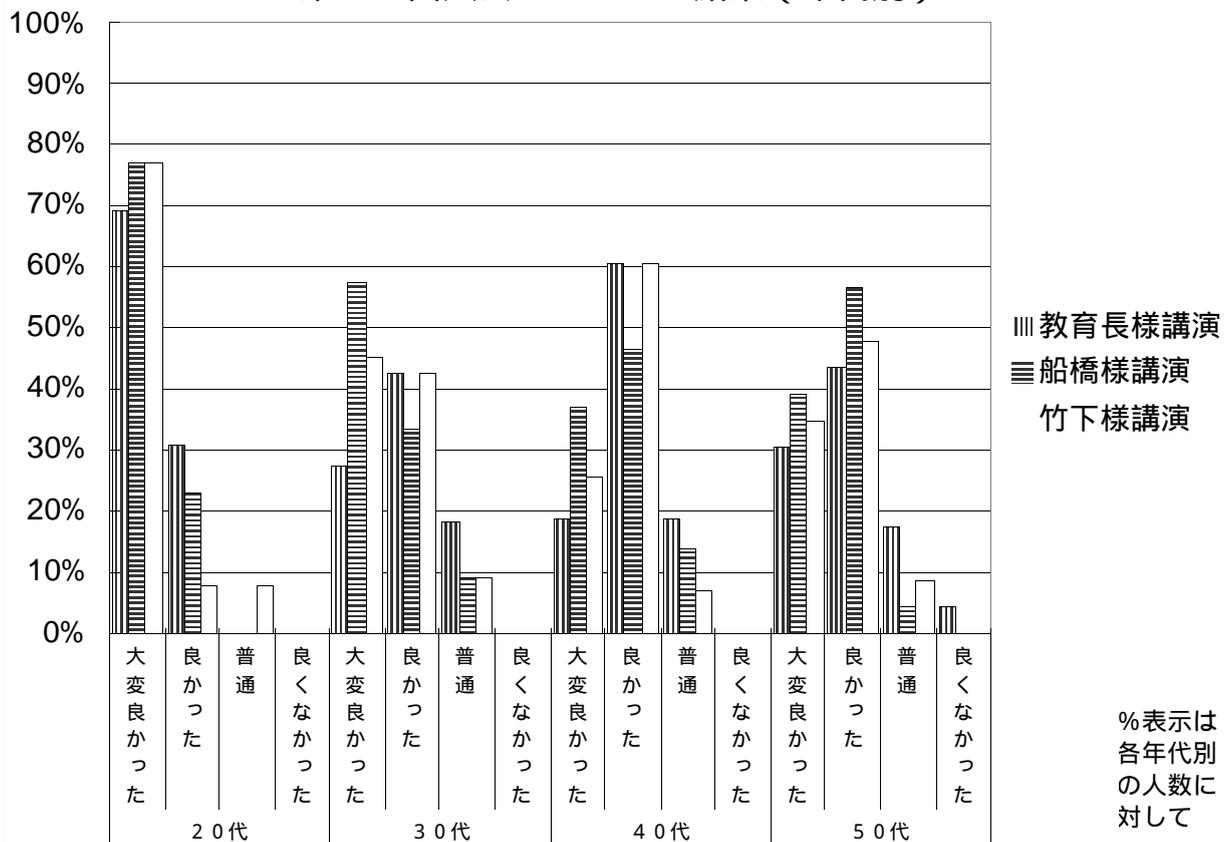
アンケート提出数	112
内数(県内)	108
内数(県外)	4
(一部無回答有)	

参加者数	241
内数(県内)	218
内数(県外)	23
アンケート回収率	46.5%

第16回大会アンケート結果（回答別）



第16回大会アンケート結果（年代別）



以下は、大会アンケートのコメント欄です。

教育長様講演より

県内

- 20代：非常にためになりました。前例にとらわれない姿勢を大切にしたいと思いました。
- 20代：パソコンを使われたりと大変分かりやすく話をしてくださってとても良かったと思います。今度は県知事のお話もぜひ聞いてみたいです。
- 20代：佐賀県の教育方針が改めて学べてよかった。
- 20代：県立の職員には、1人1台のパソコンが支給されていると聞いたので、市町村立の事務職員にも与えてほしい。
- 20代：前例にとらわれない職務遂行に心掛けようと思った。自分なりの根拠を持つようと思います。
- 20代：とても分かりやすく簡単に説明してくださったので、良かったと思います。
- 30代：パワーポイントを使ってのお話は、とてもわかりやすくよかった。
- 30代：多忙の中、我々の職務を理解された上での講演で良かった。
- 30代：スクリーンでグラフ表示された資料を用いられていてわかりやすかった。
- 30代：内容もさることながら、この会に初めて教育長本人が来てくれてよかった。
- 30代：話だけを書き留めることはむずかしいけれど、今回のように見て頭に残る情報は助かります。でも・・・できれば今少しゆっくりして欲しい。早口過ぎです。早送り過ぎです。
- 30代：IT教育や図書整備の為に交付金の話やパワーポイントを使った講演、職務標準表への言及等、大変活力溢れるお話を頂きました。
- 30代：とにかく、教育長が、事務研に来て講演されること自体が重要。
- 40代：時流にのった、IT化にのった、事務職員であってほしい教育長の思いがよく伝わった。
- 40代：自らパソコンを駆使され合理的な説明をされた教育長に前例にとらわれない改革を望みたい。
- 40代：教育長が学校事務職員に期待するものが、制度として??する教育行政を期待したいものです。(??は、字をくずして書かれていたので判読できませんでした。調査広報部 中野)
- 40代：パワーポイントを利用されたいへんわかりやすい講演でしたが、少し物たりなかった。
- 40代：事務職員の職務について大へん高く評価されており、やりがいのある仕事として頑張っていけたらと思った。
- 40代：今は年齢に関係なくパソコンを使えないといけないと思った。県教育長が直接話をして下さったことは意義のあることだと思う、。
- 40代：県教委の教育長が来られて、講演してもらったことに意義がある、と思う。
- 40代：初めて、生の声を聞くことができました。事務職員に対しての職務についての理解がありとてもうれしく思いました。
- 40代：学校現場、事務職員のことをよく理解されていると感じました。
- 40代：TVや文書で聞くのではなく、直接話が聞けて良かった。
- 40代：自分達の任命権者である「教育長」の話が聞けてよかった。
- 40代：教育長のお話を直接聞くことができ良かったです。前向きな考えがわかり、私たち事務職員にとっても心強いと思いました。
- 50代：新しい観点に立って今後の事務職員のあるべき姿を示されたと思う。
- 50代：これからの教育について、学校事務職員の在り方について理解のある話だった。
- 50代：県教育長さんの声を直接に聴くことはこれくらいですよ。
- 50代：ITへの理解、事務職員への理解の程が分かった。
- 50代：資料も豊富で視覚的にも効果十分であった。おかしな言い方だが、よく勉強されているなあと考えた。
- 50代：パワーポイントは良かった。事務職員もパソコンをもっと利用しなければ・・・。
- 50代：中身はともかく、来ていただいて良かった。佐事研で歴史的なことだと思う。
- 50代：教育長のお話を校長会等でもして欲しい。

船橋様講演より

県内

- 20代：共同実施についての理解が、とても深まりました。
- 20代：事務支援室で独自に開発されたソフトは、ダウンロードが出来るのであれば、方法を教えて頂きたい。大変良かったです。
- 20代：興味深い話をわかりやすく話していただきたいへん良かった。
- 20代：事務支援室の具体的なことが分かって良かった。
- 20代：事務職員として、日常の事務処理等におられるのではなく、もっと学校運営に積極的に関わっていくためにも、共同実施により事務の効率性・標準性を生み出すことが重要であると思った。
- 20代：共同実施について、今までより少しでも理解することが出来たと思うので良かったです。
- 30代：青森のグループ制、事務支援室のお話は、たいへんすばらしく、参考になりました。
- 30代：事務支援室という形態での共同実施は定着していて温かみがあると思いました。是非機会があれば訪れてみたいものです。
- 30代：共同実施のあり方はさまざまだなと思った。
- 30代：どこにでも反対意見をもつ（強力な）方はいらっしゃるものですね。その中でも自分のスタンスで積極的に行動されてる姿はすばらしいと思いました。
- 30代：毎日やってないからかもしれないが、文書受付はたしかに大変。自分の字キライだし、佐事研で作った文書受付ソフトが、複数校対応でさえあれば利用したいと思っている。でも違うし・・・。
- 30代：共同実施に対する様々な取り組みや「支援室」という特殊な設定等、大変勉強になるお話でした。
- 30代：「グループを作り リーダーを育てるとは・・・」という点では、うまく言えないが考えさせられた。
- 30代：共同実施の方向性に、ゆきづまった感があったので、新鮮に思った。
- 30代：共同実施の実践報告、事務支援室の詳しいお話が聞いて良かったです。
- 40代：共同実施のすごい実践例が盛りだくさんで、驚くと同時に大変刺激になった。
- 40代：念ずれば、花開く。船橋氏の熱意が周囲の状況を変えていく経緯に人間臭いドラマがあっておもしろかった。
- 40代：ひとつの取り組みとして参考になりましたが、グループごとの成果・取り組みが良く見えなかった。
- 40代：先駆的な立場で活動をされている船橋さんの実行力とバイタリティを参考にしたい。
- 40代：物事を成就するには、意欲と情熱だと思いました。
- 40代：共同実施はなかなかむずかしい。
- 40代：事務支援室を設けたことによって、学校がどのように変わったのかをお聞きしたかった。
- 40代：興味深かった。
- 40代：共同実施の理想的なありかたは「事務支援室システム」かもしれないと思った。きちんと標準化が優先されている。
- 40代：自分が変わらなければ・・・。意識改革の必要性を痛感しました。
- 40代：よく勉強されているなぁと感心しました。
- 40代：事務支援という考え方が佐賀にもあればと感じた。
- 40代：これからの私たちのグループの共同実施を根本的に考え直そうと思った。
- 40代：グループ制、事務支援室の役割を具体的にわかりやすく話をして下さって、大変良かったと思います。意識を変える事は大切だと思います。
- 40代：具体的なイメージがつかみにくかった。たとえば1日の業務の流れ等。
- 50代：共同実施が今ひとつ自分のものになりえていない私に、船橋さんの話は、たくさんの資料を用意していただき、同業者への愛情に満ちた話であったと、勇気もらった。
- 50代：これから（H16）共同実施を予定しているので大変参考になった。
- 50代：具体的な考え方、意識改革、それを成果として出す実行力に感心しました。

50代：内容はまあまあだった。運営の仕方に問題！！1時15分～4時まで（3時間近くを座らせるやり方、トイレ休憩もなく何考えているのだ、最後の質問など聞きたくもなかった）

50代：少数意見の反対派の声もユーモアを交えて話され、他県には無い青森（八戸）方式の事務のグループ制について興味深く聞くことができた。

50代：グループ化は良いと思う。（すぐにでもできる）属人的な事務処理はもう古い。

50代：熱意がとても感じられました。今の自分になくなっていくものでした。

50代：もう少し具体的な中身を話して欲しかった。

県外：

30代：詳細な資料をご提示いただき、大変参考になりました。今年度から共同実施を始めており、共感できる部分や学びたい部分など沢山あり、ここまでできてよかったと感じました。

30代：身近な話で、現在、共同実施で試行錯誤していたので少し自分の頭の整理ができました。

竹下様講演より

県内

20代：話が分かりやすかった。

20代：長年経験された中での貴重なお話が聞けて大変ためになりました。

20代：昔のここの話がおもしろかったです。もっと聞きたかったのに、時間が短かったので残念です。

20代：竹下先生、本当にありがとうございます。

20代：消耗品の管理に関しては是非参考にしようと思います。在庫状況等を確実に把握していこうと思いました。

20代：以前の事務のことを話していただき、楽しかったです。

30代：竹下事務長は気さくな良い方で、剣道7段という肩書には驚きました。今後も頑張ってください！

30代：自分が生まれる前や、生まれた頃、児童生徒だった頃の話を知るの、今では考えもできないけど、聞いて良かったと思います。

40代：佐事研の歴史、事務職の変遷も割とおもしろかった。

40代：信念を持って、歩いてこられた竹下先生は、まさに事務職員の鑑です。

40代：先輩の実践のおかげで今があるのだと感じました。

40代：講演会3は多すぎ、総会がメインであれば午後からの開催を考えて下さい。異業種からの講演者もお願いします。

40代：竹下先生、長い間お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。

40代：ご苦労された体験、また、それを克服された体験を聞き勇気づけられました。

40代：諸先輩の苦労があって佐事研が立ち上がったことがわかりました。

40代：たいへんためになりました。

40代：佐事研のために、ご尽力いただきありがとうございました。

40代：大先輩の思いを聞いて良かったです。

40代：おつかれ様でした。

40代：消耗品管理など経験に基づいた話が興味深かった。

40代：長い間おつかれ様でした。私達も頑張ります。

40代：竹下前会長様、ありがとうございました。

50代：古き良き時代の学校事務から事務機器導入を経験した竹下さんの話を、期待して待った。

50代：講師の実直さが良く伝わってきました。

50代：長い間おつかれ様でした。

50代：以前の事務職員を取り巻く学校現場の話などをなつかしく思い出しながら拝聴しました。

50代：竹下前会長おつかれ様、まだまだ佐事研のため頑張ってください。

50代：もっともだと思うことが多かった。

県外

30代：他県ながら苦労された部分は共通し、興味深く思いました。また、素晴らしい先輩がおられ佐

賀県をうらやましく思いました。

30代：効率化に結びつく話が印象的でした。

その他

県内

20代：ありがとうございました。お世話になりました。

20代：とても有意義な会でした。今日、得たものを明日からの職務につなげていこうと思います。

30代：16時には会を終了して欲しい。

30代：役員の方たちばかり仕事を楽しそうにされているのが十分に伝わりました。

30代：森会長のあいさつで、義務教育国庫負担制度の見直しに対する危機感、等ありましたが・・・。
個人的に、佐事研が組合のような活動をするのは・・・納得できません。（もちろん、自分達の職に関わるし、情勢に左右され、仕事にも影響のある事なので大切な事だとは思ってはいますが。）
研究団体って自らの職の立場を広げていく事も必要なんではしょうか？まあ、佐賀市教委教育長や佐賀県小中学校長会長のあいさつにも、出てるので、問題視される程のことではないのかもしれませんが・・・。ついでに言うなら県教委の吉野教育長も記念講演の船橋講師も・・・話題にされてました・・・ね。

30代：空調がききすぎで寒かった。

40代：・電子県庁化計画について、県の情報統括官の話を知りたい。・インターネットでのアンケートを実施してほしい（集計作業が楽になると思います。又HPの活性化にもつながります）。

40代：八戸の事務支援室の話は良かった。はじめて共同実施の意味が認識できました。

40代：教育長講演の資料（パワーポイントで示されたもの）がほしいです。

40代：事務職員には、一種のひねくれた感情があるので・・・。3の講演の時間が長すぎた。エコノミー症候群を引き起こす人がでるのではと思った。

40代：・最初から希望せずに、文科省の共同実施を希望するのはよいことですか？・佐賀県の共同実施は、教育支援にかたよりすぎ、平準化の方がより優先されるべき。共同実施イコール教育支援ではないはず。評価されたい人達のあせり、あるいは、スタンドプレーとしか見えない。考えなおすべき！

40代：今回は、とても有意義な大会でした。

40代：大会のあり方について・・・今まで16回大会がありましたが、終わりの時間が延びることが多々あります。佐賀市は5時以降になると大変車が混み、アバンセをやっと出ても、それからまた渋滞します。せめて4時20分の閉会でお願いしたいと思います。

40代：全般的に、質問者に対しての回答が中途半端でもどかしい気がしました。

50代：いつも思うのだが、時間的に遠い所から来るものもいる。市内中心に考えてほしくない。もう16回もしているのだから朝のあいさつは1人にして来賓は呼んでもいいが、時間の確保して欲しい。来賓のあいさつはいつも変わらない人数で何回も前例並では、もう飽いたよ。せめて4時には終わろう！！（朝も10時位からで）大会の悪いくせ時間のつめすぎ。

50代：大変勉強になりました。今日の学びを明日からの学校事務の実践に生かしていきたいと思いません。

50代：弁当の内容が変えてあったので希望がかなえられて嬉しい。

県外

30代：毎回、素晴らしい講師がいらっしゃるのでとても勉強になります。

30代：まとまりのある会という印象を受けました。

少人数学級またはチームティーチング(TT)の選択制

佐賀県教委は、小学校1・2年の少人数学級または、チームティーチング(TT)の導入及び中学校1年の学力にばらつきが見られる英語と数学についての少人数授業・TTを実施できるよう非常勤講師の配置を方針づけた。佐賀県教委は、来年度から各市町村教委の判断で、小学校1・2年の児童数の上限を40人が

ら35人に引き下げた「少人数学級」が導入できることを決めた。

一律導入でなく、学校規模・実情に応じて複数の教師によるチームティーチングも選択できるようになる。中学1年生への少人数学級は見送り、英語と数学で少人数授業やTTを拡充する。古川知事は、中学1年は、少人数学級を見送り、英語と数学の少人数授業の拡充を打ち出していることに関しては、「今後検討したい。」と述べた。

県教委は古川知事の要請を受け、昨年度から導入の是非を検討。小学低学年に基本的な学習習慣、生活習慣を身に付けさせるためには、きめ細かな指導が必要と結論づけた。ただ、学校の規模や学校施設に考慮し、TTの選択肢も設けた。

一連の施策で教員の増員など小学校で5億円、中学校で1億円の計6億円の県費が必要と試算。県教育委員長らが、県知事に検討結果を報告し、実現を求めた。知事は「少人数学級への筋道がついた。十分検討する。」と述べた。

県教委によれば、「選択は市町村教委と学校の判断に任せるが、効果をチェックするため、生活、学習習慣定着に向けた目標設定と到達度を毎年、保護者に公表することを求めていく。」と述べた。良い方向に向かっているのは事実であり、定着してもらいたい、学校施設設備の整備、集団的活動など学級運営にプラスになるのかなどの側面や保護者の不安、また疑問や不満も残っており、保護者を含めた議論も今後必要である。(佐賀新聞より抜粋)

インターネット 学校事務(鳥取県...) 掲示板より引用・抜粋

単なる参考の意味で載せて見ました。気軽に読んでください。

全部使わないと来年予算をつけてもらえないからという人がまだいる。それも管理職にそういった人がいる。私も事務職員になりたての頃に、予算はそんなものだと思っていた。

でも、今は違う。いるものはいるし、いらぬものは返す。ゼロ精算しない。納税者に対して説明ができるように計画的な執行を心がけよう。

それにしても年々負担額(私の頃とは大違い)派手になればなるほど家計に結構響いて大変。負担できないおうちの子はどうするんでしょう。

学校集金について、給食費は、町(教委)が、直接保護者の口座から引き去りをしており、学校はノータッチです。教材費については、袋集金(現金集金)で、担任を通じて、学年の会計担当者へといきます。でも、学校がすべての現金を扱わないのには反対。合理化を追求しすぎると、みえなくなってしまうものがあると思います。

私は、ずいぶん前から、私費(PTA会計など)より業者に払うものについては、振込手数料を業者負担してもらっていた。この手数料を負担してもらった話を夫と話したら、業者さんもかわいそうだな。ほとんど儲けなんてないだろうと言った。彼はいつも中小企業の味方である。

子供貯金は月に2日の貯金日を設けており、当日は、地元の支所の担当者2名が来校し、登校時に生徒から直接受け取ってもらっています。貯金日に提出できなかった人は、直接支所の窓口に届けることになっています。PTA会費についても、同じ金融機関を利用しており、たしか半年分2回払いで集金していると思います。

給食費などの学校集金を保護者口座振替するのに、金融機関が手数料をとるようになったことが、話題になりました。このたび郵便局も口座振替の指定ができるようにしました。なぜなら、校区内の4つの小学校全てが郵便局を導入することを決めたからです。小学校でできるものを中学校ではだめといえないものですね。また、年9回の振替回数も、申し込みがあった方のみ、年2回払いできることとしました。さらにすすんで、年間一括払いも選択できるようにしました。一番多く手数料を払う家庭は52円×9回=468円、少ない手数料は20円となります。1クラスに2~3人ぐらいの申し込みかなと考えていたらなんと30%以上の申し込みがありびっくりしました。

インターネット うんちくより引用・抜粋

寿司は、健康食・美容食・長寿食

アクセス! (<http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/>)

酢は、防腐作用・殺菌作用などがあり、疲労を防ぐ。また、動脈硬化や高血圧の予防になる。「魚を食べると頭が良くなる」という、ベストセラーにあるように鮪(まぐろ)の中の中トロ・さば・イワシ等に多く含まれている、人間の脳に大切なDHA(ドラスヘキサエンサン)を妊婦が毎日のように摂取すれば、知能指数の高い子が生まれることが立証されております。すしを食べることにより、頭もよくなるわけです。

鮪を食べると衰えてきた生殖本能がよみがえり、ボケ痴呆防止と癌の抑制になる。

うに(雲丹)を食べるとイライラがなくなる。

のり(海苔)は、胃腸を丈夫にする。

貝類は若返りに効果あり、ご婦人の肌の栄養にもなる。

寿司は毎日食べても太ることのないダイエット食

ただし、毎日食べて栄養がよくなり、太ったとって苦情を言わないでください。あくまでも抜粋...でも、毎日食べると嫌になるし、お金が続かないと思います。

ガソリンスタンドで勧められる水抜き剤とは？

ガソリンスタンドで勧められることが多い水抜き剤、これはガソリンのタンク内に入っているガソリンに混じっている水分を取り除くためのもので、基本的成分はアルコール系溶剤です。どうしてガソリンタンクに水が溜まるかというタンク内で結露が起こるためです。結露とは、冷たいガラスのコップなどの表面に水滴がついているのをみたことがありますよね？あの水滴のことです。タンク内にはガソリンの空気が入っています。その空気の湿気が外気温とタンク内との温度差によって結露が起き水滴となって水が溜まるのです。だけど、よほどの量が溜まらない限りエンジンが不調になることはありません。心配なのは、その水が原因でタンクがサビることです。サビが発生してその粉がガソリンと一緒にエンジンに送られるとトラブルの原因になってしまいます。そんな理由で水抜き剤を使うと良いと言われるのです。しかし、現在のガソリンタンクは、防サビ塗装がしっかりされているのでサビが発生されにくくなっていて、なかには、サビの心配がまったくない樹脂製のタンクを使っている車もあります。つまりその車はまったく水抜き剤を使わなくても問題が起こることはないのです。もし、サビるのが心配なら年に1回くらい入れればいいでしょう。それも買うならガソリンスタンドより車用品店などで買った方がより安く買えます。

参考資料：読み出したら止まらないクルマのネタ本 [三推社・講談社]

ちなみに素人の私は、車用品店で水抜き剤を買ってもどこにどう入れたらいいかわかりません。

《全国の研究大会情報》

大 会 等	期 日	会 場 等
第36回全国公立小中学校事務研究大会	平成16年7月28日(水) ~ 7月30日(金)	高知県民文化ホール他
第7回近畿地区公立小中学校事務研究大会	平成16年8月24日(火)	京都会馆第1ホール
第22回新潟県研究研修大会	平成16年8月26日(木) ~ 8月27日(金)	さくらんどう会館ほか
第27回福島県公立小中学校事務研究大会	平成16年10月13日(水) ~ 10月14日(木)	伊達町ふるさと会館他
第15回東北地区公立小中学校事務研究大会	平成16年10月27日(水) ~ 10月28日(木)	秋田市文化会館他
第36回埼玉県学校事務研究大会	平成16年10月27日(水)	
第40回愛媛県公立小中学校事務研究大会	平成16年10月27日(水) ~ 10月28日(木)	松山市
第38回鳥取県公立小中養護学校事務職員研究大会	平成16年11月5日(金)	倉敷未来中心
第36回東海地区公立小中学校事務研究大会	平成16年11月12日(金)	大垣市ソフトピアジャパン
第6回神奈川県学校事務研究大会	平成16年11月26日(金)	平塚市中央公民館
第40回東京都公立学校事務職員研究協議会研究大会	平成16年12月14日(火)	教職員研修センター
第37回関東地区学校事務研究大会	平成17年1月27日(木) ~ 1月28日(金)	千葉県文化会館
第43回東京都公立小学校事務職員会研究大会	平成17年3月1日(火)	教職員研修センター

上記の研究大会の詳細については調査広報部及び事務局では対応しておりませんので、各自で対応されるようお願いいたします。

*** お礼** 先日の全事研調査「情報等に関する実態調査」のご協力、ありがとうございました。皆様から送付していただいた用紙を集計して、6月21日に全事研調査部長秋葉氏へメールにて送付いたしました。

佐事研 調査広報部長 中野